

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
千曲川リバーサイド地区(第Ⅱ期)

令和2年6月

長野県上田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	棟/5年	32	10	3	確定 見込み	● ○	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業実施の効果が表れた。
指標2	世帯	11,774	11,980	12,869	確定 見込み	● ○	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業の実施のほか、大型施設の開店、大規模な住宅団地の整備等による。
指標3	件/5年	458	405	306	確定 見込み	● ○	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業の実施や、新たな交通規制等の実施により、大幅に交通事故件数が減少した。
指標4	件/5年	10	5	21	確定 見込み	● ○	×	あり なし	6件	H31年3月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	支援実施翌年度からは鉄道輸送障害が減少している。
指標5					確定 見込み	● ○		あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	幹線道路及び生活道路の整備	長野県による主要地方道路長野上田線の街路事業に対し、要望活動や事業負担金などにより整備促進を図った。	歩道の整備や交差点改良の実施により、歩行者や自転車通行の安全が確保できた。	地域間を結ぶ骨格幹線道路の事業推進を図るため、県への要望活動を継続していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	地域の足(鉄道)を守るための施策の推進	・鉄道の安全運行に係る設備投資や修繕に対する補助 ・事業者や団体等と連携しての利用促進(イベント等)の実施	・安全対策事業の計画的な実施のための補助概要等を示した3か年協定の更新(平成31年4月から3年間) ・6年連続で輸送人数120万人以上を記録する。	・令和元年東日本台風災害(令和元年10月)により、千曲川鉄橋が落橋したため、現在令和3年4月の全線復旧に向け工事を進めている。全線開通(復旧)後は事業者と連携して、利用促進を図り利用者増を図っていく。
	上田城跡・尼が淵付近の景観の向上	上田市無電柱化推進計画の中で、周辺道路について無電柱化を検討する路線に位置付けた。	長野県無電柱化計画へ登載に向けて検討していく。	無電柱化にあわせて周辺道路環境の整備を進める。
	少子高齢化に対応した交通体系づくり	交通量の多い主要骨格道路の無電柱化や歩道整備	歩道の整備により、通学時の学生や高齢者及び車いす利用者が安心して通行できる交通環境が整えられた。	さらなる無電柱化や歩道整備を進め、交通の円滑化と車両・歩行者の安全確保を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項